

令和4年

第3回町議会定例会

# 行政報告

(令和4年8月30日)

幕別町長 飯田 晴義

令和4年第3回町議会定例会が開催されるに当たり、当面する町政の執行につきましてご報告をさせていただきます。

#### (忠類簡易水道東部地区における断水事故について)

はじめに、忠類簡易水道東部地区の漏水事故に伴う断水について申し上げます。

当該事故は、8月3日、午後3時50分頃、忠類総合支所前道道交差点付近において、配水管本管に亀裂が生じ漏水が発生したことにより、東部地区の配水区域全域91世帯が断水に至ったものであります。

事故発生後、直ちに漏水箇所の特定に取り掛かるとともに、飲料水の確保策として、対象世帯全戸に給水パックの配送を行ったほか、これと並行して、防災行政無線により周知を行い、さらに畜産農家に対しましては、JA忠類のご協力をいただき、ファクスにより、断水の状況についてお知らせをしたところであります。

午後6時に着手した復旧工事は、翌4日午前0時に配水管本管を修復し、点検確認を行った後、午前1時から通水作業と管内の水の濁りを解消するための作業を行い、午前1時45分に水の濁りが解消されたことを確認し、全ての作業を完了しました。

なお、復旧作業が深夜に完了したことから、地域住民に対するお知らせにつきましては、午前8時に防災行政無線により行ったところであります。

断水発生から復旧完了まで約10時間を要し、その間の断水により、各家庭での食事の準備や酪農家の搾乳作業等にご不便をおかけいたしましたことに対し、深くお詫び申し上げます。

#### (功労者について)

本年も10月1日に126年目の開町記念日を迎えます。

偉大な先人たちが理想郷の実現を目指し、不屈の精神で本町発展の礎を築かれて以来、町民各位の限りない郷土愛により、幕別町が十勝の中核的な町として発展を続けておりますことに対し、深甚なる敬意と感謝を捧げるものであります。

例年、開町記念日に本町の功労者を顕彰させていただいておりますが、過日、各団体等から自治功労賞として1名、社会功労賞として4名、産業功労賞として2名の方々の推薦をいただいたところであります。

今後は、9月2日に開催されます表彰者選考委員会の答申を経て、表彰者の決定をさせていただく予定といたしております。

### (普通交付税について)

次に、本年度の普通交付税について申し上げます。

7月26日、国は「令和4年度普通交付税大綱」に基づき、各自治体へ交付する普通交付税の総額を16兆9,705億円、前年度との比較では5,784億円、3.5%の増と決定いたしました。

本年度の算定にあっては、昨年度から普通交付税の算定基礎となる人口が、令和2年国勢調査の人口に置き換えられたところでありますが、本年度は高齢者保健福祉費における65歳以上及び75歳以上人口が、また、徴税費及び戸籍住民基本台帳費における世帯数が新たに令和2年国勢調査数値に置き換えられることとなったとともに、寒冷補正の級地が10年ぶりに見直されたほか、地方公共団体が地域社会のデジタル化を一層推進するために、前年度に引き続き「地域デジタル社会推進費」が同額措置されたところであります。

こうした状況の下、決定されました本町の普通交付税額は58億9,707万6千円で、前年度当初算定額との対比では6,978万7千円、1.2%の増となりました。

なお、本年度の決定額と当初予算計上額の比較におきまして、約300万円の歳入不足が生じたところでありますが、令和3年度繰越金及び特別交付税などの財源の状況を勘案しながら、今後の財政運営を慎重に進めてまいりたいと考えております。

### (不登校親子まなびサロン「N a n m o (なんも)」の開設について)

次に、不登校親子まなびサロン「N a n m o (なんも)」の開設について申し上げます。

町では、本年7月から、札幌コミュニティプラザにおいて毎月1回、第3水曜日に、小学生から高校生までの不登校の児童生徒とその保護者が集い、相互交流や相談ができる、まなびのサロン「N a n m o (なんも)」を開設しております。

不登校については、教育委員会を中心に、学校における対応のほか、子ども交流施設「まっく・ざ・まっく」での支援等に努めているところでありますが、町のひきこもり相談の実態や、ひきこもり経験者の半数近くが不登校を経験しているという内閣府の調査結果などを踏まえ、ひきこもりに関して早期の対策を図るべく、新たにサロンを開設したところであり、7月、8月の参加者数は、保護者が延べ10人、その児童生徒が延べ2人となっております。

今後におきましても、学校等との連携の下、不登校の児童生徒とその保護者へのサポートに取り組んでまいります。

### (全国和牛能力共進会北海道最終選抜会について)

次に、全国和牛能力共進会北海道最終選抜会について申し上げます。

全国和牛能力共進会は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果を競う場として、5年に1回開催される「和牛のオリンピック」と称される大会で、牛の姿・形を審査する「種牛の部」と肥育牛の肉質等を審査する「肉牛の部」からなっております。

今月10日に音更町で開催された北海道最終選抜会において、「種牛の部」で、糠内の山田貴赦さんと新川の西嶋一洋さん、「肉牛の部」で、軍岡の柴山匡さんの出品牛が北海道代表牛22頭の中に選ばれました。

本町の和牛生産改良組合からの選抜は、平成4年の第6回大会から7大会連続出場となり、この快挙は、生産者の日々の改良努力はもちろんのこと、JAをはじめとし

た農業関係機関の指導の賜物であると、敬意を表するところであります。

全国大会は、10月6日から10日まで鹿児島県で開催されることとなっており、3人の生産者におかれましては、出品牛の飼育管理に更なるご苦労があるものと推察いたしますが、多くの人に十勝和牛の素晴らしさを認識していただける大会になることを期待しているところであります。

#### (農作物の作況について)

次に、農作物の生育状況について申し上げます。

本年は、6月下旬からの長雨や日照不足、さらには、8月からの低気圧や前線の影響による多雨により、玉ねぎなど一部の作物に病害虫の発生が見られることから、今後の農作業や収穫期に向け、憂慮しているところであります。

8月15日現在の主な農作物の生育状況につきましては、秋まき小麦が、昨年と同日の7月19日に収穫を始め、7月31日に終えたところであり、10アール当たりの粗原単収は、平年並みの約10俵とのことですが、登熟期の天候不順の影響による製品歩留まりの低下が懸念されるとお聞きしております。

このほか、てん菜は、草丈はやや長く、根周も平年並みに生育しており、豆類は大豆と小豆は4日早く生育し、莢も順調に伸長しておりますが、手亡は、生育は平年並みながら、草丈・着莢数は平年を下回り、馬鈴しょも2日早く生育しておりますが、高温多雨の影響で小玉傾向となっております。

また、飼料用作物は、牧草が収穫期の天候が安定せず1番草の収穫が遅れた圃場も見られましたが、サイレージ用とうもろこしにつきましては、2日早く生育しておりますことから、良質な粗飼料の確保が期待されるところであります。

いずれの作物におきましても、今後、収穫期に向け、好天に恵まれ、農業者の皆さんの的確な管理により、農作業事故が無く、豊穰の秋を迎えられますことを心から願っております。

### (公共工事の発注状況について)

次に、公共工事の発注状況について申し上げます。

8月30日現在の公共工事の発注済額は、21億8,756万円で、発注率にいたしますと84.68%となっております。

現在までのところ、土木関係では桂町1号、東1条2条仲通、忠類24号線などの道路整備工事を、建築関係ではあかしや南団地の公営住宅建替工事のほか、札内南小学校長寿命化改修工事、古舞地区共聴設備移設工事、アルコ236ろ過機等更新工事、幕別町民プール屋根改修工事などを、水道関係では道路整備工事に伴う配水管移設工事のほか、札内配水池電気設備更新工事などを、下水道関係では下水道処理区統合に係る連絡管渠の整備工事などの発注を終えております。

今後は、残る道路整備工事や橋梁長寿命化修繕工事の発注を予定しており、安全に工事が進められるよう適切な工期設定と適時発注に努めてまいりたいと考えております。

### (本町における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について)

次に、本町における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について申し上げます。

道内では、6月24日に感染力が強いとされるオミクロン株のBA.5系統の感染が初めて確認されて以降、急速に置き換わりが進み、7月下旬から新規感染者が急増し、今月4日には一日の新規感染者数が初めて7千人を超えるなど感染の急拡大が続いたことから、北海道は8月10日から31日までを集中取組期間とする「BA.5対策強化宣言」を行い、「保健・医療提供機能の十分な発揮」や「感染防止行動の徹底とワクチンの接種」などの取組を集中的に展開する所としたところであります。

こうした中、本町における感染状況につきましては、6月の第2回定例会の行政報告以降、6月9日から昨日現在までの感染状況を申し上げますと、この間の新規感染者数の累計は1,708人となっており、このうち7月1か月間の新規感染数は256人でありましたが、8月1日から8月29日の約1か月の間に、その5倍を超

える1,398人の新規感染者が確認され、特に、8月21日の週には一週間の新規感染者数が408人と初めて400人を超え過去最多を更新するなど、感染拡大が収まらない状況となっております。

また、町内の公共施設における新規感染者数は、同じく6月9日から昨日までに、小学校9校で児童172名、教職員8名、中学校5校で生徒51名、教職員6名、町立保育所3か所で児童27名、職員7名、へき地保育所2か所で児童1名、職員1名、学童保育所3か所で児童48名、職員5名、子育て支援センターで児童1名、職員3名、町立幼稚園で職員1名のほか、役場本庁舎等において職員25名の感染者を確認しているところであります。

#### (新型コロナワクチン接種の実施状況について)

次に、新型コロナワクチン接種の実施状況について申し上げます。

はじめに、3回目の接種状況についてであります。昨日現在、65歳以上の方で接種を終えられた方が8,579人で、2回目の接種を終えられた方に対する接種率は94.8%、64歳以下の方は、9,105人で、74.1%、合わせて17,684人で、82.9%となっております。

このうち、4回目の接種を終えられた方は、60歳以上の方が7,057人、18歳から59歳の基礎疾患を有する方が332人で、合わせて7,389人となっております。

また、5歳から11歳の方へのワクチン接種につきましては、昨日現在、対象者1,570人に対して1回目接種を終えられた方が391人で、接種率が24.9%、このうち2回目の接種を終えられた方が358人で、1回目の接種を終えられた方に対する接種率は91.6%となっております。

このほか、7月22日付け厚生労働省通知により、4回目接種の対象者に、重症化リスクが高い方にサービスを提供する者として「医療従事者」や「高齢者施設等の従事者」を新たに加えることとされたため、該当するご本人や各所属医療機関等からの

申請に基づき接種券を発行し、接種を進めているところであります。

次に、5回目の追加接種についてであります。7月22日付け厚生労働省通知及び7月26日と8月9日に開催されました自治体向け説明会において、接種対象者、接種開始時期、接種券の発送準備等に係る取り扱いが示されましたことから、これらの情報を基に現在準備を進めているところであり、今定例会に関連する予算について提案させていただいたところであります。

なお、5回目の追加接種対象者は、初回接種2回目までの接種を完了した全ての方を想定しており、使用するワクチンにつきましては、10月中旬以降は従来のワクチンに代わりオミクロン株に対応した新たなワクチンとすべく、現在、製薬会社において、日本国内での承認に向け申請準備を進めているとのことでありますことから、今後、国からの情報を基に速やかに接種体制の整備を図るとともに、希望される方が、安心して接種を受けられるよう正確な情報の提供に努めてまいります。

#### **（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した経済対策等の取組について）**

次に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した経済対策等の取組について申し上げます。

はじめに、「スーパープレミアム商品券発行事業」の実施状況についてであります。幕別町商工会において、7月8日から22日までを期間として購入申込の受付を行い、4,717人から予約販売数15,000セットに対し22,606セットの申込みがあり、抽選の結果、3,272人の方に購入引換券を発送し、8月3日から引換を行ったところであります。

今回の商品券の利用期間は、消費活動が高まるお盆時期に間に合うよう、8月3日から9月30日までとしたところであり、金額にして総額1億1,250万円となりますことから、消費拡大による経済効果を大いに期待しているところであります。

次に、原油価格、物価高騰に直面する生活困窮者等に対する支援事業として、今回



先行的に、「高齢者等物価高騰対策緊急支援事業」と「子育て世帯生活応援給付金給付事業」の二つの事業を実施することといたしました。

支援事業の一つ目、「高齢者等物価高騰対策緊急支援事業」につきましては、物価高騰に伴い光熱水費や食費など生活費の支出が増大する中、生活の安定を図ることを目的に、北海道の補助事業を活用し、いずれも住民税非課税世帯である65歳以上の高齢者のみの世帯、身体・知的・精神に重度の障がいのある方がいる世帯、ひとり親世帯のほか、生活保護の受給世帯を対象に、生活費の一部として1万2千円を支給するものであります。

二つ目の「子育て世帯生活応援給付金給付事業」につきましては、町単独の事業となりますが、18歳以下の児童等のいるひとり親世帯や住民税均等割非課税世帯など低所得の子育て世帯に属する児童を対象に、一人当たり5万円を支給するものであり、先に支給しております「子育て世帯生活支援特別給付金」の6万円と合わせると、児童一人当たり合計11万円の支給となるものであります。

なお、これら原油価格、物価高騰に対する二つの支援事業につきましては、特に、低所得者、とりわけ子育て世帯への影響が大きいことから、「スーパープレミアム商品券発行事業」に引き続く第2弾の支援事業として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、今定例会に関連予算を提案させていただいたところですが、今後におきましても、「福祉灯油支給事業」など、更なる生活困窮者等に対する物価高騰対策につきまして、適時実施してまいりたいと考えております。

以上、当面する諸課題等につきまして、ご報告をさせていただきましたが、議員の皆さんには、引き続き町政の執行に対しまして、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、行政報告とさせていただきます。